



八幡平市 桜の見どころスポット

為内の一本桜 (八幡平市野駄)



松尾八幡平ICから八幡平市役所方面へ車で約3分
盛岡駅からバスで約70分(市内)
下車徒歩25分または「松尾郵便局前」下車徒歩1.2km(約23分)
約5台(無料)
※撮影時の路上駐車、農地への侵入はご遠慮ください。
4月下旬

小高い丘の頂上に、数基の石碑とほこらを守るように咲く一本桜。そのどっしりとした存在感を放つ「ソメイヨシノ」は毎年見事な花を咲かせ、訪れる人たちの目を楽しませています。かつて神社があった場所に、大正8年(1919年)の社殿の移設によって1本だけ残った桜。速くにそびえ立つ岩手山と青空のコントラストは絶景です。

桜松公園 (八幡平市高畑)



安代ICから国道282号線を盛岡方面へ車で約10分
花輪線「荒屋新町」駅からタクシーで約15分
67台(無料)
5月上旬

日本の滝百選「不動の滝」に隣接する岸壁下の「桜松神社」には、松の木に桜の花が咲いたのを見て村人が驚き、吉兆として崇めたという言い伝えがあります。荘厳な滝と優美な桜を楽しめる人気スポットで、5月3日に行われる例大祭の頃が見頃。境内には2本の木が途中でひとつになる「縁結びの木」、溪流に沿った遊歩道があります。

上坊牧野の一本桜 (八幡平市松尾寄木)



西根ICから岩手山焼走り国際交流村方面へ車で約15分
花輪線「大更」駅下車
タクシーで約15分
約10台(無料)
※撮影時の路上駐車、牧野への侵入はご遠慮ください。
5月中旬

八幡平市の上坊牧野に咲く、知る人ぞ知る一本桜。霞がかかっているように見えることが由来の「カスミザクラ」は雄大な岩手山を背景に凛と立ち、その優しい色合いで来訪者を迎えます。夏期には放牧されている牛も見ることができ、周辺では岩手山焼走り熔岩流、八幡平温泉郷など観光や温泉も楽しめます。

※天候等により春の開花時期が前後する場合がございます。

八幡平市さくら公園 (八幡平市柏台)



松尾八幡平ICから県道45号線を八幡平山頂方面へ車で約10分
盛岡駅からバスで約70分
「さくら公園」下車
約300台(無料)
5月上旬

八幡平アスピーテラインの玄関口にある桜の名所。公園内を散策しながら、ソメイヨシノやエドヒガンザクラ、ウワミズザクラなど数種類の桜をゆったりと観賞できます。多くの木々や池のある彩り豊かな公園から望む、岩手山はまさに絶景。また、公園内には縄文末期に作られたといわれる釜石環状列石が復元されています。

岩手県 県民の森の夫婦桜 (八幡平市松尾寄木)



松尾八幡平ICから八幡平温泉郷方面へ車で約15分
盛岡駅からバスで約90分
八幡平方面行き「県民の森」下車徒歩で5分
学習館:50台
みんなの広場前:10台(無料)
5月上旬

みんなの広場を奥に進み、中ノ島と呼ばれる小高い場所に佇む「夫婦桜」。樹齢約100年のオオヤマザクラとカスミザクラが寄り添うように並び、ピンクと白の花びらが美しく重なり合う姿は見所の一つです。県民の森では、約500本ものオオヤマザクラを楽しめ、中でも同広場で見られる岩手山を背にした桜達は見事、の一言に尽きます。

田代平の一本桜 (八幡平市古屋敷)



安代ICから葛巻日影線を通り車で約15分
花輪線「荒屋新町」駅からタクシーで約15分
約10台(無料)
※路上駐車、牧野への侵入はご遠慮ください。
5月中旬

七時雨山の麓「七時雨山荘」から徒歩5分の放牧地にある綺麗な一本桜。樹齢およそ300年と言われる「ベニヤマザクラ」は青々とした山に囲まれ、田代高原のシンボルとして知られています。幹の周囲は、大人3人がかりでやっと手がつなげるほど。桜の開花時期には、放牧されている茶色い短角牛を見ることがもできます。

十和田八幡平国立公園 八幡平

八幡平アスピーテライン雪の回廊

岩手県と秋田県にまたがる全長約27kmの山岳道路。例年11月上旬から4月中旬の冬季間は通行止めとなります。春を迎え、4月中旬に開通すると除雪した後に見られる高さ数mにもなる雪の壁を5月中旬頃まで見ることができます。



雪の回廊ができるまで

1 調査隊による状況調査

除雪作業をする前に、道路に残っている積雪量、道路上部の斜面の状況を調査します。これを基に除雪の計画を立てます。



2 除雪作業 第1段階「先付け」

積雪量が多く道路の形がわからないので、一番最初にバックホウで道路の形がわかるように雪を崩していきます。この作業が「先付け」です。



3 除雪作業 第2段階「雪版下げ」

道路の形がわかるようになったら、次は路面上の雪をブルドーザ(写真1:右奥の機械)でロータリ除雪車(写真1:手前の機械)の方へ掻きだします。



掻きだした雪をロータリ除雪車のオーガ(写真2:前方にある赤い部分)で雪を取り込み、シュート(写真2:オーガの上にある筒)で雪を飛ばして雪版面を下げていきます。この作業が「雪版下げ」です。



4 除雪作業 第3段階「拡幅」

雪の壁をバックホウ(写真1:奥の機械)で崩し、その雪をロータリ除雪車(写真1:手前の機械)で飛ばして、道幅を広げていきます。この作業が「拡幅」です。



ロータリ除雪車(写真2:手前の機械)で拡幅を行った後、除雪ドーザ(写真2:奥の機械)で路面の凹凸やわだちを削って路面を平らにする作業を行います。



5 除雪作業 第4段階「仕上げ」

最後に雪の壁面をきれいにするため、ロータリ除雪車で壁を薄く切るように仕上げを行います。これで除雪作業は完了です。



※雪の回廊は、その年の天候や積雪量により高さが異なります。

写真提供 盛岡広域振興局土木部 岩手土木センター

八幡平ドラゴンアイができるまで

1 一面の雪原の下が鏡沼

雪原の下に鏡沼があるとはわかりませんが、中央に大きな窪みがあります。雪原の下が見えない所で、雪解けが進んでいます。



2 沼の縁取りが三日月状に

雪解け水が鏡沼に注ぎ、沼の中央部が少しずつ盛り上がってきたように見えてきます。大量の雪解け水が中央部を持ち上げています。



3 中央部に目玉が登場

沼の中央部分に「黒目」に相当する部分が見えてきます。空気に触れることにより、急速に雪解けが進み、ドラゴンアイは間近です。



4 ドラゴンアイ開眼

ついにドラゴンアイの完成です。その時の天候にもよりますが、晴天の時はエメラルドグリーンの色が鮮やかに見えます。



ここ数年の開眼状況

2020年6月10日撮影



2021年6月10日撮影



2022年6月11日撮影



八幡平市内山開き

七時雨山 [ななしぐれやま 標高 1,063m]

- 山開き 5月21日(日)
- 場所: 田代平登山口

八幡平市北東部に位置する「新日本百名山」のひとつで、岩手山、早池峰山などとともに「岩手の20名山」に数えられる名峰。均整のとれたピラミッド型の山容をなしており、山頂からの展望は遮るものない景色が広がっています。



八幡平 [はちまんたい 標高 1,613m]

- 山開き 6月1日(木)
- 場所: 八幡平山頂レストハウス

山頂は八幡平市の南西端に位置し、十和田八幡平国立公園に指定されている秋田県と本県にまたがる「日本百名山」。散策路が整備されており雄大な風景と高山植物の観察が楽しめます。



裏岩手連峰

- 開山祭 6月18日(日)
- 場所: 松川荘駐車場

八幡平から岩手山にかけて、標高1,500m前後の畚岳、峻嶒森、源太ヶ岳、ミツ石山などが連なった稜線。山開き時には残雪を楽しめ、山上の湿原では夏は高山植物、秋には紅葉が美しく彩ります。



岩手山 [いわてさん 標高 2,038m]

- 山開き 7月1日(土)
- 場所: 焼走りキャンプ場

本県最高峰で、南部片富士とも呼ばれている「日本百名山」。二つの外輪山からなり、山頂からの眺望は岩木山や八甲田山、鳥海山など360度にわたって「大パノラマ」を楽しめます。四季折々で色とりどりに咲く高山植物も必見。

